



SPA Wellness
NPO 日本スパ・ウェルネス協会

ダイエットアドバイザー 認定筆記・実技試験 受験要項

※本要項には、出願から資格取得までに必要な事項が記載されています。
出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。

特定非営利活動法人
日本スパ・ウェルネス協会

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3 TEL 03-5960-0332

目次

I	ダイエットアドバイザー認定試験	2
II	出願手続	
	1. 受験資格	3
	2. 出願に必要な書類	3
	3. 出願書類の提出先と受付期間	4
	4. 受験料と振込先	4
	5. 出願の流れ	5
	6. 受験票の発行と通知	5
III	試験概要	
	1. 試験日程	5
	2. 試験会場	6
IV	筆記試験概要	
	1. 試験内容	7
	2. 試験当日の持ち物	8
	3. 受験上の注意事項	8
	4. 試験当日の交通機関に関する注意事項	9
V	実技試験概要	
	1. 試験内容	9
	2. 試験の流れ	10
	3. モデルについて	12
	4. 受験者準備物と貸出品について	13
	5. 試験前後の荷物の発送について	14
	6. 受験上の注意事項	15
	7. 試験後の整理整頓について	16
VI	合否通知の発送	16
VII	受験申し込みから資格取得までの流れ	16

Ⅰ ダイエットアドバイザー認定試験

私たちの身体は、自らを取り巻くさまざまな環境や生活習慣によって形づくられています。

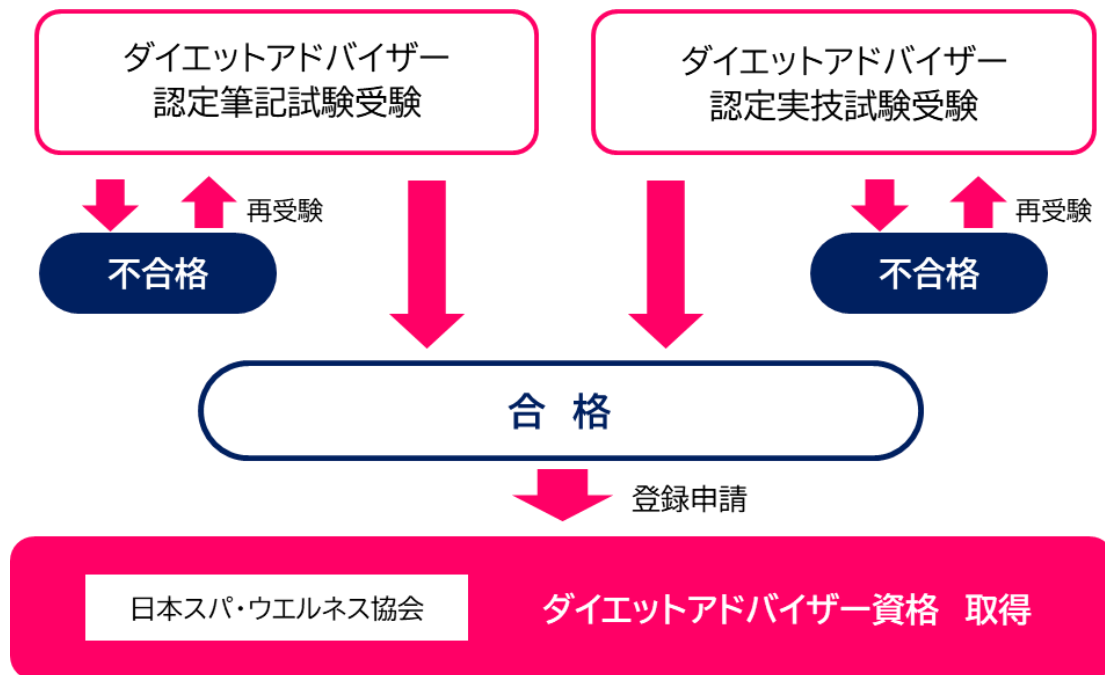
生活習慣が多様化した現在では、食事や運動、健康法、環境やライフスタイルなどが日々そして個人によってもめまぐるしく変化しており、結果として過食や運動不足による「肥満」と、痩せ願望によって偏った食生活や極端なダイエットによる「痩せ」が社会的な問題となっています。

ダイエットアドバイザーとは、健康的で美しく痩せるための正しい知識と技術、指導力を持ち、効果的かつ実践的なダイエットプログラムを遂行できるダイエットの専門家です。

当協会では、学術的根拠に基づいた専門的な知識と技術を習得し、お客様に安心、安全かつ効果的に痩身施術を提供できるセラピストの証明として、「ダイエットアドバイザー」の資格を付与しています。



【受験から合格・資格申請までの流れ】



II 出願手続

1. 受験資格

当協会の正会員であり、美容・エステティック専修学校、スクールなどで、JEO が発表（2007 年 5 月）した「エステティシャン指針」に準拠した 300 時間以上のカリキュラムを修了した方、または修了見込の方で、次の①、②のいずれかの要件に該当する方。

- ① 100 時間相当の痩身カリキュラムを修了した方、または修了見込みの方。
- ② 痩身に関連する実務経験を 3 か月以上有する方。

痩身カリキュラム 100時間相当	
美容痩身学	25時間
美容痩身実技理論	25時間
痩身実技(サロンワーク含む)	50時間

2. 出願に必要な書類

- ◎ JEO 発表の「エステティシャン指針」に準拠した 300 時間以上のカリキュラム+100 時間相当の痩身カリキュラムを修了または修了見込であることを証明する書類の写し（受験資格①該当者）
- ◎ JEO 発表の「エステティシャン指針」に準拠した 300 時間以上のカリキュラムを修了、または修了見込であることを証明する書類の写し（受験資格②該当者）
- ◎ 実務経験証明書（受験資格②該当者）
⇒当協会ホームページよりダウンロードしてください。
- ◎ 団体申込用紙（認定校より出願の場合）

SPA Wellness
実務経験証明書

個人名： _____ 氏名： _____

性別： _____ 年齢： _____

職種： _____ 勤務先： _____

勤務期間： _____

勤務内容： _____

記入日： _____

此照会日： _____

実務経験証明書

- ※ 必要書類の不備（必要事項の記入漏れ、必要書類の添付なし等）や受験料未納などの場合は、それらが解決されるまで受験することはできません。
- ※ 偽造した必要書類を提出した場合や提出した書類に虚偽の記載が含まれていた場合は、認定後であっても資格を取り消します。
- ※ 勤務している会社やサロンなどが複数にわたる場合は、それぞれの実務経験の期間及び内容を記入し、現在の所属先にて証明を受けてください。
- ※ 勤務していた会社が倒産・閉鎖して押印をいただけない場合は、実務経験証明書に必要事項を記入し、会社名と勤務期間がわかる書類（源泉徴収票・給与明細などの写し）を期間分ご提出ください。
- ※ 受験者自身が代表者の場合は、客観的証明と判断できる書類（登記簿謄本、納税証明書、個人事業の開廃業等の届出書など）の写しをご提出ください。
- ※ 一度受理した書類は原則返却いたしません。原本の提出が必要な書類以外は必ず写しを提出してください。

3. 出願書類の提出先と受付期間

【出願書類の提出先】

特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 事務局

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3

TEL：03-5960-0332 FAX：03-3988-8227 受付時間：月～金 10：00～17：00

【出願書類の受付期間】

ホームページに記載している申込期限内（おおよそ試験日の2か月前から1か月前まで）

<https://www.spa-wellness-japan.or.jp>

※締切日を過ぎた書類は受理いたしかねますので、ご注意ください。

4. 受験料と振込先

【受験料】

筆記試験 8,800 円（税込） ディプロマ発行料含む

※再受験の場合は、受験料は 5,500 円（税込）となります。

実技試験 11,000 円（税込）

【受験料振込先】

みずほ銀行 丸の内中央支店 普通預金口座 1995665
口座名義：特定非営利活動法人 とくていひえいりかつどうほうじん 日本スパ・ウエルネス協会 にほん きょうかい

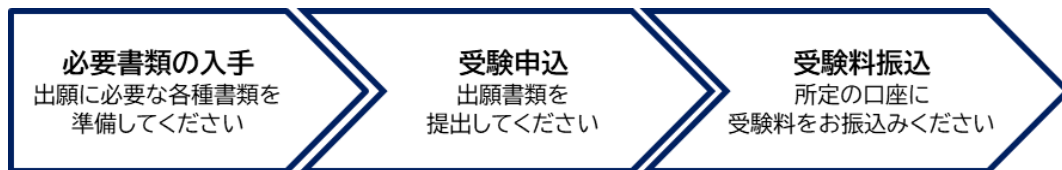
※実務経験者の方は「**受験者本人名義**」で、当協会認定校の場合は必ず「**認定校名**」でお振込みいただき、振込証明書をお受け取りください。

※振込手数料は**受験者負担**となります。

※振込証明書は破棄せず、合格後、資格認定登録を行うまで大切に保管してください。

※受験をキャンセルする場合は、**試験日 1 週間前までに事務局へご連絡**ください。それ以降のキャンセルは事務局の都合でない限り、**いかなる理由でも受験料の返金はいたしかねます**のでご注意ください。なお、自己都合によるキャンセルの場合は、返金の際の振込手数料は受験者負担とさせていただきます。

5. 出願の流れ



出願に必要な書類はホームページよりダウンロードしてください。書類提出後、受験料を所定の口座にお振込みください。

6. 受験票の発行と通知

- ・ 受験票は試験の1週間前までに、受験願書に記載の住所に発送予定です。試験日3日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- ・ 団体申込の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。
- ・ 書類などの確認のため、当協会に登録された電話番号、メールアドレスに連絡する場合があります。
- ・ 住所、電話番号、メールアドレスなどに変更があった場合は速やかに事務局までご連絡ください。
- ・ 提出いただいた個人情報につきましては、適正かつ厳重に管理の上、ダイエットアドバイザー試験実施の目的以外には使用いたしません。

III 試験概要

1. 試験日程

年2回（6月・10月）

※試験の日程の詳細はホームページを参照してください。

※試験日程は都合により変更になる場合もあります。

【出題形式】

出題数 60 問

- ・ 選択問題（選択式・択一式）：50 問（1 問 1 点×50 問＝50 点）
- ・ 記述問題：10 問（1 問 5 点×10 問＝50 点）

【合格基準】

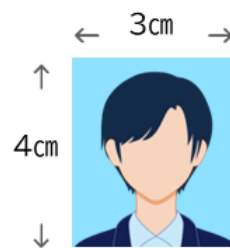
100 点を満点として、70 点以上が合格

2. 試験当日の持ち物

- ・ 写真*が貼付された受験票（写真の貼付がない場合は受験することができません）
- ・ 筆記用具

※写真について

- ・ 証明書用写真（タテ 40mm × ヨコ 30mm）
- ・ 過去 3 か月前以内に撮影されたもの
- ・ 上半身正面向・無帽・無背景のもの
- ・ 眼鏡使用の場合は無色透明のレンズに限る
- ・ スナップ写真、不鮮明な写真、特殊加工を加えたものは不可



3. 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れた場合や受験票に写真の貼付がない場合は受験することができません。
- ② 試験開始 30 分前から受付を開始します。待機スペースの準備はございませんので、受付時間を目安にご来場ください。
- ③ 受付後、試験会場（各教室）に移動し、座席表等で指定された座席に着席してください。
- ④ 遅刻した場合は、試験開始後 10 分以内であれば入室は可能です。
- ⑤ 携帯電話等、音の出る電子機器は会場に入る前に必ず電源を切って手荷物の中に入れてください。これらの電子機器を時計やタイマーとして使用することはできません。
- ⑥ 試験会場内では、試験監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 試験中は受験票を試験監督者から見える位置に置いてください。
- ⑧ 試験中のスマートウォッチの着用は禁止です。
- ⑨ 解答用紙に受験番号及び氏名が未記入の場合は無効や減点の対象となります。解答を始める前に受験番号、氏名を正しく丁寧に記入してください。
- ⑩ 問題に関する質問については、回答の必要がある場合に限り回答します。
- ⑪ 試験中に不正行為を行った場合は即座に退出していただき、試験は無効となります。

- ⑫ 試験中に気分が悪くなった場合は、試験監督者に申し出てください。
- ⑬ 試験中に地震や火災など不測の事態が発生した場合は、試験監督者の指示に従ってください。
- ⑭ 試験開始後 45 分以降から退席することができますが、一度退席した受験者が再入室することはできません。
- ⑮ 試験終了後は会場外での不要な私語はご遠慮いただき、速やかにお帰りください。
- ⑯ 試験会場以外への立ち入りはご遠慮ください。
- ⑰ 試験会場での飲食等については、各会場のルールに従ってください。
- ⑱ 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は受験することができません。その場合は、再受験等の措置を行いますので事務局にご連絡ください。

4. 試験当日の交通機関に関する注意事項

- ① 各会場には受験者・モデル用の駐車場及び駐輪場はありません。会場までは公共交通機関をご利用ください。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので自動車での送迎もご遠慮ください。
- ② 交通機関の混乱に備え、余裕をもって来場してください。
- ③ 交通機関の乱れなどで受験時間に間に合わないと判断した場合は、速やかに事務局まで連絡の上、指示を仰いでください。
- ④ 道に迷ったなどが原因の遅刻は認められません。前日までに会場への経路を調べて確認しておいてください。ただし、会場内の下見はできません。
- ⑤ 主要交通機関の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと判断した場合は、試験開始時間を遅らせることがあります。

V 実技試験概要

1. 試験内容

【試験時間】

全工程 60 分

コンサルテーションシートに基づいた内容の瘦身実技
(コンサルテーションシートの作成/機器操作/選択技術/口頭試問)

【合格基準】

100 点を満点として **75 点以上が合格**

2. 試験の流れ

【実技試験の流れ（試験時間：60分）】

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点	
①	5分	事前準備	・準備(器具、用具、化粧品)	・器具、用具、化粧品は全て用意する。 ・化粧品は、モデルに適したものの、かつコースの流れに沿ったものを準備する。	
			・ワゴンのセッティング	・器具、用具、化粧品は必要なものを不足なく機能的に配置し、ワゴンは施術しやすい位置にセッティングする。 ・不要なものはワゴン上に出さず、引き出しに入れる。	
			・ベッドメイキング	・ベッドは清潔感があり、シワのないようきれいにセッティングする。	
			・衛生面	・使用する器具、用具の消毒を適切に行い、使用済と未使用なものとの分別をする。 ・化粧品を衛生的に使用する。 ・施術前や施術中の手指の消毒を常に心掛ける。	
		受験者の身だしなみ	試験官より髪、メイク、ユニフォーム・シューズ、ストッキング、爪などトータル的な身だしなみのチェックを受ける。		
			・手指、爪	・手指、爪は手入れをする。 ・爪は指先から出ないように整える。	
			・髪	・髪は清潔に整え、長い髪は美しくまとめる。 ・前髪や短い髪などは、施術中に触れずに済むように対処する。	
			・メイク	・好感をもたれるナチュラルなメイクアップを施す。	
			・ユニフォーム	・汚れやシワ、ボタンのほつれなどが無い清潔なユニフォームを着用する(下着が透けていないこと)。	
			・シューズ	・汚れがない清潔で動きやすいシューズを着用する。	
			・ストッキング	・肌色に近い色のストッキングを着用する。	
			・アクセサリー	・アクセサリーや時計などは身につけない。	
		・全体の清潔感	・好感をもたれる身だしなみと全体の清潔感を心掛ける。		
②	15分	衛生・消毒	・技術者の消毒	・施術前や施術中の手指の消毒を適切に行い、施術中も衛生的に保つ。	
			・モデルの消毒	・モデルの消毒を適切に衛生的に行う。	
		ボディ コンサルテーション	・ボディチェック	・施術に必要な情報を引き出し、皮膚や身体の状態(脂肪や筋肉の状態、冷え、むくみ等)を的確に判断し、正しく分析する。 ・傷や炎症箇所などトリートメントを避ける部位の有無などをチェックする。 ・姿勢の歪み(不良姿勢)をチェックする(正面・横)。	
			・適切な技術(コース)設定	・コンサルテーションで得た情報を総合的に判断し、どのような目的で何のトリートメントを行うかを決定する。 ・ボディ分析の内容に基づき、施術目的を明確にし、施術プラン及び使用化粧品を適切に選択する。	
			・ホームケアアドバイス	・適切で具体的な内容であり、継続可能なアドバイス(食事、運動、生活面など)をする。	
			・シートの記入状況	・施術に必要な情報を最大限に引き出し、要点をまとめて記入する。 ・指定された時間内でシートを完成させる。 ・事前記入の部分は、誰が見ても見やすく、分かりやすい表現で記載する。	
※ベッドの背もたれは立てた状態でもフラットな状態でも可。 ※コンサルテーションシートの太枠内は事前記入。 ※身長、体重はモデルの自己申告による数値を使用する。 ※消毒、マッサージの準備までこの時間内で行う。					

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
③	20分	機器 トリートメント	・化粧品への肌への適合性と使用量	・施術目的や肌質に適合した化粧品を選択し、適切な量を使用する。
			・姿勢、体重移動	・各部位への移動はスムーズに行う。 ・施術部位や手技に応じて、姿勢や体重移動が適正である。 ・ベッドやモデルとの距離を適切に保ち、身体に負担のない美しい姿勢で行う。
			・テクニック	・施術の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したトリートメントを行う。 ・骨格や筋肉、リンパ節の位置を理解し、的確な範囲・走行でトリートメントを行う。 ・肌質、関節、腰、首、腹部などの弱い部分に対し十分に配慮し、肌や身体に負担をかけず、内出血など皮膚の異常を起こさない。 ・施術部位に対し、選択したプローブやソーサーが適切である。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して安定した技術を行う。
			・タオルドレーピング	・終始、施術部位以外の露出が少なくなるよう、適切にタオル等を使用する。 ・施術中のモデルの体感温度に配慮する。
		・背面から前面に移るときの拭き取り可。 ・時間に余裕があればマッサージ中の拭き取り可。ただし、施術終了が早すぎる場合は減点対象。		
④	10分	選択技術	・マッサージ料の肌への適合性と使用量	・施術目的や肌質に適合した化粧品を選択し、適切な量を使用する。
			・姿勢、体重移動	・各部位への移動はスムーズに行う。 ・施術部位や手技に応じて、姿勢や体重移動が適正である。 ・ベッドやモデルとの距離を適切に保ち、身体に負担のない美しい姿勢で行う。
			・テクニック	<脂肪のみみだし> ・各手技の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したトリートメントを行う。 ・皮下脂肪やセルライトをしっかりとり、肌や身体に負担をかけず、的確な範囲にトリートメントを行う。 ・肌質、関節、腰、首、腹部などの弱い部分に対し十分に配慮し、内出血など皮膚の異常を起こさない。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して安定した技術を行う。 <バンテージ技術> ・骨格や筋肉、皮下脂肪やセルライトの位置を理解し、ゆるみや締めつけがないように体型に合わせて適切にトリートメントを行う。 ・肌質、関節、腰、首、腹部などの弱い部分に対し十分に配慮し、肌や身体に負担をかけない。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して安定した技術を行う。
			・タオルドレーピング	・終始、施術部位以外の露出が少なくなるよう、適切にタオル等を使用する。 ・施術中のモデルの体感温度に配慮する。
⑤	10分	拭き取り 原状復帰	・拭き取り	・タオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
			・原状復帰	・後片付けを丁寧にいき、原状復帰する。
—	全体を通しての 接客・誘導	・姿勢、体重移動	・正しい姿勢、歩き方、座り方を意識する。	
		・接客マナー	・好感のもてる表情、立ち居振る舞いで臨む。 ・正しく美しい言葉遣いで話す。 ・丁寧にスムーズな誘導をする。	
		・モデルへの配慮、気配り	・モデルに対して常に気を配り、配慮ある心遣い、声がけ、対応をする。 ・礼儀正しく心のこもった接遇で、モデルと適切なコミュニケーションを図る。	
		・安心感	・謙虚で真剣な態度で臨み、安心感や信頼感に繋げる。	
	口頭試問	・全体を通しての理解度	・モデルの皮膚や身体の状態について、ボディトラブルの原因とメカニズム、選択した技術の目的と効果、禁忌事項や注意事項、基本手技の目的と効果、使用化粧品の特徴成分、ホームケアアドバイスなどについて適切に回答する。	
		・受け答えのマナー	・口頭試問にはマナー良く回答する。	

3. モデルについて

受験当日にはモデルをご同伴ください（事務局ではモデルの手配は行っておりませんので、ご注意ください）。認定校での受験の場合は、受験者同士の相モデルでも構いません。

受験日当日は、異性の受験者及びモデルと同室となる場合がありますので、事前にモデルに了承を得た上で同伴してください。

【モデルの条件】

- 18歳以上であること。
- 全ての施術に対応できるモデルであること。

【モデルになれない方】

以下の項目に該当する場合は、受験不可となる場合があります。

- エステティック禁忌事項に該当する方
- 極度の敏感肌やアトピー性皮膚炎など、試験の進行に支障をきたす恐れのある方
※ 普段の練習モデルの方でも、肌状態によっては試験官の判断により受験をお断りする場合があります。
- 治療中の疾患がある方、または半年以内に手術（美容整形を含む）を受けた方
- 持病があり、根治していない方
- 心臓ペースメーカーなどの医療電子機器を装着している方
- 体内にボルトなどの金属製の固定具が埋め込まれている方
- 感染する恐れのある疾病や皮膚疾患のある方
- タトゥを入れている方
- 妊娠中・出産直後の方
- 発熱やリンパの腫れが見られる方や1週間以内に37.5℃以上の発熱があった方
- 全身倦怠感、過度の疲労感や睡眠不足など体調不良の方
- 2週間以内に強い日焼けをした方
- アレルギー反応が出ている方
- 試験日の1週間以内にワクチンを接種した方

同伴モデルへの配慮を心掛け、モデルが試験中に体調不良等により途中退室を希望した場合は必ず試験官に申し出てください。

4. 受験者準備物と貸出品について

【受付時に必要なもの】

- ・ 写真*が貼付された受験票（写真の貼付がない場合は受験することができません）

【実技試験時に必要なもの】

① 化粧品類

- 当日のモデルの肌質や施術内容を想定した化粧品、トリートメント用材
※化粧品を別容器に移し替える場合は、容器に成分表を貼付してください。

② リネン類

- ベッドメイキング用タオル（バスタオルまたはタオルケット等）：シーツ用と上掛け用
- 施術用及びドレーピング用タオル等：必要枚数
※リネン類は無地で白または淡い色の清潔なものをご使用ください。
※不足しても事務局では貸し出しを行いません。

③ 消毒剤類

- エタノール、塩化ベンザルコニウム等、消毒対象物に適したもの

④ 消耗品類

- コットン、綿棒等必要に応じて

⑤ 備品類

- 消耗品（コットン・綿棒等）を入れる蓋付容器を入れる容器
- セッション
- セッション立て
- スパチュラ
- ボウル 等
※容器等はサロンで使用することを前提としたものを用意してください。
※その他各自必要と思われるものをご用意ください。

⑥ その他

<モデル用>

- ガウン
- セパレートタイプの水着（ペーパーブラジャー、ペーパーショーツでも可）
- スリッパ

<受験者用>

- ユニフォーム（制服）、シューズ、マスク（任意）
- バインダー、シート記入用の筆記用具（多色ペン等）
- モデル欄記入済みのコンサルテーションシート
- ボディチェック用マット
- 機器・トリートメント用具等の自由選択持ち込み物（ワゴンにおけるプロユースのもの）
※必要があれば延長コードをお使いください。
- 時計またはタイマー（会場には時計を用意しています）
- 梱包用具一式（会場から荷物を返送する方）：ガムテープ、はさみ

【会場準備物】

- ベッド（1台）
- スツール（1台）
- ワゴン（1台）
- 痩身関連機器（吸引揉捏機器）
- ゴミ箱
- 給湯設備及び水道設備（洗い場）
- タオル蒸し器
- 会場用時計
- 荷物用のかご（ベッド下に準備物を置いておく）
※事務局では会場準備物以外の貸し出しは一切いたしません。
※忘れ物があると受験できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

5. 試験前後の荷物の発送について

<試験前の荷物の発送について>

- ◎ 荷物の発送は、段ボールではなくスーツケースや衣装ケースをお勧めします。
- ◎ 事前に試験会場に荷物を発送する場合は、「元払い伝票」にてお送りください。
- ◎ 試験会場のご迷惑とならないよう、**事前にお伝えする着日・時間を指定して発送**してください。
- ◎ 各会場は校舎が複数ある場合がございますので、必ず指定住所に発送してください。
- ◎ 未着の荷物、または指定日・指定時間以外に届いた荷物に関しては、会場及び事務局は一切責任を負いません。各自で宅配業者に確認を取るようお願いいたします。荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 指定日に荷物の発送ができない場合は、当日ご自身でお持ちください。
- ◎ 他の荷物に紛れてしまうと受験ができなくなります。伝票の「品名欄」を必ずご記入ください。
例) 「ダイエットアドバイザー実技試験用化粧品、備品等」
「割れ物注意」、「ご自身の実技試験日」

荷物の発送に関してご不明な点がある場合は、協会事務局までお問い合わせください。

荷物の到着日・時間は必ず厳守いただきますよう、お願いいたします。

(発送先・指定着日・指定時間は別途お知らせいたします)

<試験後の荷物の発送について>

- ◎ 試験会場から荷物を返送する際には、会場指定業者の「着払い伝票」に届け先・依頼主共に、ご自身のサロンや会社、お名前を記入してください。何らかのトラブルで荷物が会場に戻ってしまった場合は会場からの再送・転送はしませんので、各自で会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 会場が指定する宅配業者以外での発送はできません。
- ◎ 荷物は丁寧に梱包し、液体等が漏れないようにしてください。段ボールに水分がしみ出すなどの場合は返送できない可能性があります。その際は会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 荷物のトラブルに関する問い合わせは、ご自身で配送業者と連絡を取ってください。
- ◎ 万一トラブルが起きた際に必要となりますので、荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 試験翌日の着払い指定はできません。

6. 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れた場合や受験票に写真の貼付がない場合は受験することができません。
- ② 試験開始 30 分前から受付を開始します。
- ③ 試験官は受験者の技術だけではなく、プロフェッショナルとしてのマナーも見ています。試験中は厳粛な気持ちで臨みましょう。
- ④ 試験中は試験官の指示に従って試験を進行してください。
- ⑤ 試験中、受験者とモデルとの間でアドバイス等とみられる会話やその他不正行為が確認された場合は不合格となりますのでご注意ください。
- ⑥ 試験中の途中退室は受験拒否とみなし、再入室できません。
- ⑦ 会場貸出の備品等は破損しないように丁寧に扱ってください。
- ⑧ 日本スパ・ウェルネス協会公式テキストの内容を前提に口頭試問や採点を行いますので、協会公式テキストで学習することをお勧めいたします。また、協会認定校では実技試験対策講座を行っています。希望の際は事務局までお問い合わせください。
- ⑨ 試験中に不測の事態(地震や火災など)が発生した場合は、試験監督者の指示に従ってください。
- ⑩ 試験終了後は会場外での不要な私語はご遠慮いただき、速やかにお帰りください。
- ⑪ 試験会場以外への立ち入りはご遠慮ください。
- ⑫ 試験会場での飲食等については、各会場のルールに従ってください。
- ⑬ 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は受験することができません。その場合は、再受験等の措置を行いますので事務局にご連絡ください。

7. 実技試験後の整理整頓について

- ① 使用したベッド、スツール、ワゴン等は汚れを拭き、試験開始時と同じ状態にしてから退場してください。使用後の備品類は適宜消毒等を行い、必ず指定の場所に返却してください。
- ② 試験会場の整理整頓を心掛け、清潔にしてください。ゴミは全て持ち帰ってください。
- ③ 忘れ物にご注意ください。万一忘れ物があっても、会場・事務局での保管はいたしかねます。
- ④ 会場の物を誤って持ち帰ることのないようご注意ください。

IV 合否通知の発送

合否通知は、試験日より**2週間程度**で郵送にて通知いたします。電話やメールでの回答はいたしかねますので、ご了承ください。

※筆記試験、実技試験ともに、合格有効期限は**3年間**です。期限内に両試験に合格し、登録申請を行うと資格を取得することができます。

※引っ越し等で住所、電話番号などに変更があった場合は、必ず事務局までご連絡ください。

※団体での受験の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。

V 受験申し込みから資格取得までの流れ

- | | |
|--------------------|---|
| ① 筆記試験及び実技試験の受験申込 | 出願に必要な書類を準備し、申し込む |
| ② 筆記試験及び実技試験の受験料振込 | 所定の受験料を振り込む |
| ③ 受験票の送付 | 筆記試験及び実技試験の受験票が発行される |
| ④ 筆記試験及び実技試験の受験 | 受験票に記載された日時、会場にて受験をする |
| ⑤ 試験結果の通知 | 筆記試験及び実技試験の結果通知書が届く
両試験の合格者にはディプロマが発行される |

※NPO 法人日本スパ・ウエルネス協会の正会員でない場合は、試験に合格しても資格を取得することができませんので、ご注意ください。

※筆記試験及び実技試験はどちらから受験しても構いません。ただし、先に受験した試験の合格の有効期限は3年間です。筆記試験及び実技試験の両試験を合格して資格取得となりますので、ご注意ください。